

えひめ薬学生NEWS



薬学生が実習に来ました!



3/19(金)薬学生1名(帝京平成大学4年生)が帰省に合わせて実習に来ました。午前中は新居浜協立病院で、薬局・全体・病棟・薬剤科の朝礼と慌ただしくはじまりました。病棟のカンファでは患者さんの状態や服薬情報、退院予定を看護師と一緒に確認している様子を見学しました。

混注業務をさせてもらいました。注意点として、①アンプルを割る時、指を切らない事。②針刺しに気をつける事などを確認してから、手順通り教わりました。混注業務は初めてだったようで、うれしかったようです。散剤・水剤・軟膏も調剤させてもらいました。OCSEの手順で、「必ず指差し確認!薬を取るのも戻すのも指差しをするよ」「散剤と水剤はグラムからミリ数に計算ができるように!」「散剤・水剤・軟膏のうちで2つは出題されるよ」と経験談から薬剤師さんからアドバイスをしてもらいました。



午後は若水ハロー薬局で在宅訪問に同行しました。80才代の独居の方で、薬の飲み忘れがあり、他施設のケアマネから相談を受け訪問をはじめた経過を聞きました。受診時や生活の様子、症状はどうかなど、じっくりとお話を聞くことができました。また、他病院の薬も飲み忘れないよう、ホッチキスで止めたり、お薬手帳にシールを貼ったりとお手伝いをしてもらいました。

市販薬やサプリメントの服用はないか、飲み合わせが悪い薬はないかもチェックしました。最後に処方箋を頂こうとすると、どこにしまったか忘れてしまい、患者さんと一緒に探すハプニングもありました。

薬剤師さんからは、患者さんとの接し方、コミュニケーションの大切さを学びました。また、かかりつけ薬剤師や健康サポート薬局の役割など、薬剤師の仕事の幅が広がっていること、やりがいに繋がっていることなどを教えて頂きました。



<学生の感想>

- ・混注は初めての体験で、緊張しましたが、丁寧に教えて下さってすごくありがたかったです。
- ・在宅訪問の際、患者さんの残薬が多くても優しく接して、残薬を増やさない工夫をたくさんしていて自分もこういう薬剤師になりたいと思いました。
- ・服薬指導も患者さんとしっかり目を合せて相談を聞いたり、世間話をしたり、していて、薬局いいなあと改めて思いました。

